

栃木放送平成 28 年度第 2 回 5 月期定例番組審議会議事録

1.開催の日時 平成 28 年 5 月 26 日（木）午前 11 時

2.開催の場所 栃木放送本社会議室

3.委員の出席 委員総数 9 名

出席委員 4 名

欠席委員 5 名

出席委員名	委員 長	増 田 仲 夫
	委 員	竹 内 明 子
	委 員	河 又 弘 子
	委 員	平 野 博 章
局側出席者氏名	代表取締役社長	竹 澤 一 夫
	報道制作局長	高 瀬 一 也

4 議 題

(1) 「栃木 S C 全力応援生中継」について

(2) その他

5 議事内容

(1) 「栃木 S C 全力応援生中継」について

試聴番組：4 月 24 日に放送した番組を予め試聴

議題説明：報道制作局長 高瀬が番組の概要について説明。
次に審議に入る。

各委員からは、

- ファンにとってはたまらないと思う。栃木 S C 最良の実況でいい。選手のプロフィール、エピソードなどがもっと入るとよかった。応援の様子など会場の雰囲気をもっと伝えられればよかった。
- サッカーは全く詳しくないが、違和感はなかった。実況は栃木 S C 最良でいいと思う。後半、受動型の言い回しが目立った。試合

中、苦笑はいいが失笑は聞きたくなかった。

- 「大卒」の誰々という表現が気になった。プロフィールとして紹介するのはいいが、プレーするのに学歴は関係ない。
- 間延びした試合で飽きた。実況アナウンサーは聞きやすいが、引き出しが少ないように感じた。もっと話題を多くして飽きないような実況をしてほしい。
- 以前の実況中継より、臨場感は出てきた。
- サッカーに詳しくない人のために J3 のルールなど基本的なことを伝えるのも 必要ではないか。
- 栃木 SC 覇員というコンセプト通りでいいと思う。サポーターの目線の実況で感情がこもっていた。
- 情景が浮かんでこない。ラジオでやらないで サッカー中継はテレビに任せてもいいのでは。聴取者はどうなのか、ラジオに相応しい番組を編成したほうがいいのではないか。
- 実況中継の中でリスナーのメッセージを 紹介することはできないか。

などの意見が出された。

当社としてはこれらの意見を参考に今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を説明した。

(2) その他

平成 28 年度第 3 回 6 月期の審議会を 6 月 9 日（木）に開くことを決め、閉会した。